

奈弓連だより

通巻 194 号

平成 30 年 4 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

会長の挨拶

新体制の下でのリーダーシップに期待します



奈良県弓道連盟 会長 西中 正
平成 30 年度が始まりました。4 月 8 日の評議員会で 29 年度の行事報告、決算報告、30 年度の行事計画、予算が承認されました。今年度からは会費の値上げもあり皆様にご負担をおかけすることになります。この大切な会費を大会や講習会などの行事に有効に運用し、会員の成長、連盟の発展につながることを願っています。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

1 月の臨時評議員会で役員改選が行われ、新体制が 4 月からスタートしました。正月の挨拶で、「5 年先、10 年先を見据えて、若い人達の柔軟な発想を活かせる環境を創りたい」と述べましたが、新体制の下で、各部がリーダーシップを発揮し、新機軸を打ち出してくださいることを期待しています。

指導部長は山本元祥氏から吉本清巳氏に、競技部長は長濱正伸氏から乾光孝氏に、強化部長は矢野有吾氏から長濱正伸氏に交代となりました。その他の部長は留任されます。部長のみならず、今回退任されました皆様には、そのご尽力に心から感謝申し上げます。なお、新体制の詳細についてはホームページ上の便覧に記載されていますのでご参照ください。

若い人達、具体的には現役の社会人として仕事に従事されている人達は、仕事と弓道を両立させることに並々ならぬ努力が要ります。その意味からも一部の人に過重な負担がかかることがないようにしたいと思います。

さて、2030 年に奈良県で国民体育大会が予定されています。まだ先ですが県スポーツ振興課、県体育協会などと相談しながら準備を進めたいと思います。特に、奈良県内に全国大会ができるレベルの遠・近的道場の建設に向けて努力して行きます。この大きな目標実現に向けて、皆様のご協力をお願いします。

今年度も、多くの行事が計画されています。多くの会員が積極的に参加され、各行事を盛り上げてくださることを期待します。また、平素からお願いしておりますが、危険防止については特に注意してください。皆様が、健康で、安全な弓道活動が続けられますことを願っています。

新任部長の挨拶

射技・体配の上達を目標に

指導部長 吉本清巳
主に講習会関連を担当します。会員の皆さんの射技・体配の上達を目標に、多くの方が昇段試験に合格していただけるように頑張ります。伝達講習会では、日弓連の方針、指導内容を会員の皆さんにお伝えします。また、スポーツ指導員関連の講習会・手続き等も担当します。講習会運営では、講習会に参加された方が、何か持ち帰れるように、来てよかった、勉強になったと思えるような運営を心掛けて行きたいと思います。今年度第 1 回審査講習会のように、少し変わった講習内容が今後含まれる事があるかもしれませんが、ご了承ください。中堅層特別講習会を通じて五段・錬士合格者が、審査講習会(第 1 回、第 2 回)・称号者研修会を通じて中央審査合格者が、中高生の講習会・審査講習会(第 3 回)を通じて地連審査の合格者が、それぞれより多く出ていただくよう頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

国体での好成績を目指して

強化部長 長濱正伸
平成 22 年度から去年度まで競技部長を担当しました。その間、大きな事故もなく競技会を運営できたことにほっとしています。これも、会員の皆様方のお蔭です。特に競技部スタッフの方々は、私の急な指示にも嫌な顔せず迅速に対応していただき本当に感謝しています。競技部長を退任しますが、これからも、競技会への皆さまのご協力をよろしく願いいたします。

今年度からは強化部長を担当することになりました。過去、私自身が強化選手として鍛えていただいた時期もありました。これまでの経験を活かしながら、奈良県が誇れる選手を強化選手から輩出することができればと思っております。直近では、国体での好成績を目指して選手共々頑張っていきますので、皆さまの叱咤激励をよろしく願いいたします。

充実した内容の大会を目指して

競技部長 乾光孝
今年度より競技部長を担当します。競技参加者も増え、失数の変更をする大会も出てきておりますが運行、運営の不備が無いようにスタッフと力を合わせて参りますので、参加者のみなさまにも御協力お願い致します。

これからも一人でも多くの方に大会に参加して頂きたく充実した内容の大会をつくれるよう努力しますので、よろしくお願い致します。

指導部長退任の挨拶

先生方の道を求める探求心に感動 山本元祥

2年間の在任中に、中学生の冬期強化練習会からスポーツ指導員講習会、称号者研修会まで幅広い講習会の運営を経験しました。中学生の純粋な眼差し、また練達の先生方の道を求める探求心に感動。中堅層特別講習会では将来の県連を担う若い力を感じました。

また、称号者研修会では、吉本先生・川村先生・本多先生が講師となっていたいただいた時期に巡り合い、先生方と同じ空間に居られるという幸せな経験を経ることが出来ました。皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。

奈良県弓道総合選手権大会

成年男子:今西 達也選手(五條)、 成年女子:林 秀子選手(橿原) ともに連続優勝

平成30年4月15日(日) 橿原公苑弓道場・同遠的場で第15回奈良県弓道総合選手権大会兼 全日本遠的選手権大会県予選会兼 国民体育大会成年予選会兼 都道府県対抗弓道大会予選会が女子29名、男子54名が参加して開催されました。競技は近的8射、遠的8射(計16射)で行われました。午前中は雨が激しく降り、遠的競技が出来るかどうか危ぶまれましたが午後からは雨が上がり少し肌寒い中ではありましたが、遠的競技も行うことが出来ました。結果は次の通りです。

成年男子の部

優勝	今西 達也	(五條)	(参段)	13	中
2位	山口 亮二	(生駒)	(五段)	13	中
3位	奥田 章人	(橿原)	(五段)	12	中

成年女子の部

優勝	林 秀子	(橿原)	(五段)	12	中
2位	松澤 和実	(奈良)	(錬五)	11	中
3位	白井 礼子	(錬弓会)	(錬六)	11	中

競技後の選考会の結果、次の方々が選ばれました。

全日本弓道遠的選手権大会

男子 綿松 昭寛 (橿原)、山口 亮二 (生駒)
女子 揚田 よう子 (奈良)、白井 礼子 (錬弓会)

国体強化選手

成年男子

監督 長濱 正伸 (橿原)
選手 階戸 尊 (医大)、江澤 翔 (橿原)
松本 雄介 (香芝)、新子 修平 (五條)
奥田 章人 (橿原)、今西 達也 (五條)

成年女子

監督 白井 礼子 (錬弓会)
選手 揚田 よう子 (奈良)、土谷 ひろみ (奈良)
林 秀子 (橿原)、前川 なつき (橿原)
松澤 和実 (奈良)、田代 佳乃 (生駒)

都道府県対抗弓道大会

監督 阪中 計夫 (橿原)
選手 新子 修平 (五條)、赤松 順次 (郡山)
衛藤 博史 (橿原)、乾 光孝 (香芝)
白井 礼子 (錬弓会)、林 秀子 (橿原)
西田 ゆり (奈良)、長濱 有美 (橿原)
(競技部 西田ゆり)

審査講習会開催

緊張感のなか、熱気にあふれた講習会

平成30年4月8日(日) 橿原公苑弓道場に於いて、中央審査受審者を対象に、平成30年度第1回審査講習会が行われました。雪がちらつき風の冷たい一日でしたが、熱気にあふれた講習会でした。参加者は錬士受審者16名、六段受審者6名、教士受審者9名、七段受審者8名、一般受講者4名、合計43名でした。主任講師は吉本清信範士九段。講師は須田三郎教士七段、竹村邦夫教士七段。

開会式では、西中会長より「普段から審査のつもりで緊張感のある講習にしてほしい。」吉本主任講師より、「審査が厳しくなっていると、言われていますが、審査を受ける人のレベルが下がっているようにも思えます。今日は、一次がよかった人が二次に進める、というように模擬審査のように講習を進めたい。」との言葉があり、身の引き締まる思いでした。開会式の後、受講生全員が一手行射を行い、講師から講評をいただきました。

吉本主任講師：

審査を受けるにあたり、もっと射技のレベルアップをしてもらいたい。「講師に触られると中らなくなる」という人がいるが、講師は正しい射を教えようとしているのであり、素直に聞いてほしい。正射必中です。中てっこの弓ではなく、正しく引くことを身につけてほしい。基本体、基本の動作が気になる人がいる。射礼を通して研鑽してほしい。

<射礼におけるポイント>

- ・ 入場が大切。踏み出す初めの一步に、覚悟や気構えが必要。
- ・ 先導者が後続の人のことを考え、定められた座を正しくとる。(先導者が落ちから大前が変わる)
- ・ 目使い。(立った時は4m先に注ぐ)
- ・ 打ち合わせで、本座までの歩数の確認をする。
- ・ 本座で全員が一行揃う。
- ・ 肌ぬぎ、肌入れでの弓の扱い、袖さばきの向き。
- ・ 弓道誌4月号の「教本解説・上」を参照する。

- ・平成5年12月号に「射品射格」が掲載されているので参照する。
- ・残身の表情（目使い）が大切。普段から練習してほしい。
- ・審査規定にある、弓道人としてその資格にふさわしい品位を保ってほしい。

＜射技について＞

- ・手先の弓が多い。引き下ろし、その結果胴が揺れる。体中心に引き分ける。縦横十字を大切に。
- ・離れで弓手が前にくるのは良くない。
- ・べた押しが多い。
- ・うなじをしっかりと伸ばす。
- ・歯を食いしばったり、口を開いたりすると目立つ。
- ・表情は不動を保つ。
- ・それぞれが一つ一つ研修して、レベルアップをしてほしい。

須田講師：

うなじが伸びていない。目使いができていない。「やっているつもり」ではいけない。写真・ビデオなど使い、確認することが大切。例えば、「弓道読本」の唐沢先生は、方眼紙をあてて写真を撮り、残身や会の姿を確かめる、ということをされている。人に言われるのを待っているのではだめで、自分で問題点を見つけ、気づいていく。自分に甘い評価をしない。

竹村講師：

緊張して入場したからか、呼吸の乱れた人が多かった。会・離れに影響するので、手先で離すことになったり、会が早くなる。息合いがうまくいかない、張りのある詰め合い、伸び合いもできない。伸びのある残身を自分の息合いに合わせてやってみてほしい。

午後からは、持ち的・一つの、射技指導を二射場に分けて研修しました。射礼では、一つ一つの動作を細かく正していき、立として呼吸・間合いを合わせていく指導を受けました。一方、射技指導では参加者の各人の課題を丁寧に指導していただいた。先生方の熱い思いに応えるべく、受講生も言葉を聞き漏らすまいと真剣に向き合い、メモを取り、実践していこうとしていました。



吉本先生の射技指導を受ける受講生達

(指導部 松澤和実)

昇段おめでとうございます

田辺市立弓道場で3月25日に開催された近畿連合審査会において次の皆さんが五段に昇段されました。

辻本元威 (香芝)
坂本美智子 (奈良)
八木純子 (錬弓会)

橿原公苑弓道場で3月21日に開催された奈良県定期地連審査会において次の皆さんが四段に昇段されました。

黒田 莊太郎 (奈良)
川本 諭志 (橿原)
宮脇 紀行 (郡山)

おめでとうございます。

(事務局)

奈良県定期地連審査を3月18、21日に開催

3月18日に橿原公苑弓道場と奈良市弓道場において3月21日に橿原公苑弓道場において、奈良県定期地連審査が開催されました。

それぞれの審査結果は次の通りです。

第273回定期審査 3月18日 橿原公苑弓道場

級位 受審者 193名 合格 189名
(1級 92名、2級 71名、3級 26名、現級 0名)
合格率 100%

第274回定期審査 3月18日 奈良市弓道場

級位 受審者 126名 合格 123名
(1級 112名、2級 11名、現級 0名)
合格率 100%

第275回定期審査 3月21日 橿原公苑弓道場

初段	受審者 67名	合格 59名	合格率 90.8%
二段	受審者 54名	合格 32名	合格率 60.4%
三段	受審者 15名	合格 5名	合格率 33.3%
四段	受審者 15名	合格 3名	合格率 20.0%

(審査部 平木一史)

大和郡山お城まつり弓道大会

参段以下の部:和泉 芽佳選手(生駒)

四段以上の部:高橋 悟史選手(郡山) が優勝

4月1日(日)郡山城の桜が満開となる中、大和郡山市武道場弓道場において、平成30年度お城まつり弓道大会が採点制形式で開催されました。採点審判員には吉本清信・西中正・阪中計夫各先生をお迎えし

ました。先生方には、開会式後、模範演武として一つの射礼をご披露いただきました。

今年の参加者は参段以下の部が47名、四段以上が33名と例年になく少数でしたが、内容面では両種別とも上位者の得点が高く、参加された皆さんの射技・体配に対する真面目な取り組みの姿勢が感じられました。特に四段以上の部での12名による二次予選は射技・的中とともに伴い、見応えがありました。

閉会式で吉本清信採点審判員長より以下の通りの講評がありました。

◆基本が大切、縦横十文字、五重十文字をもっと修練してほしい。また正しい着装、身だしなみについても気を配ること。

◆射品、射格は何も特別なものではなく、それは日頃の練習態度や普段からの心構えによって自然と外に顕れてくるものである。称号者は称号者なりの、又初段の人は初段の人なりの射品、射格がある。

決勝進出者による競技結果は次の通りです。

【参段以下の部】

1位：和泉 芽佳(生駒) 2位：松本 雄介(蒼穹会)
3位：江澤 翔(樫原)

【四段以上の部】

1位：高橋 悟史(郡山) 2位：大西 洋亮(郡山)
3位：松澤 和美(奈良)



四段以上の部決勝戦の様子

(郡山支部 釜谷和恵)

奈良県中学校弓道選手権大会

学校対抗戦は昨年度に引き続き樫原中が優勝

今年度最後の試合、奈良県中学校弓道選手権大会が3月17日(土)に樫原公苑弓道場で、奈良県弓道連盟主催で開催された。個人戦は各人4射とし、2中以上の者を予選通過とした。予選通過者は再度4射し、計8射の的中数で順位を決めた。午後からは学校対抗戦を行い、各校4名を1チームとしてトーナメント戦を行った。参加人数は男子67名、女子95名でした。結果は次の通りです。

個人戦

男子	女子
優勝 柳川 勇太(樫原)	優勝 堀内 瑞季(香芝)
2位 福田 健斗(樫原)	2位 岩永 響(八木)
3位 西尾 憲太(樫原)	3位 都築ひかり(樫原)

学校対抗戦

優勝 樫原中学校
2位 香芝中学校
3位 白樫中学校



個人戦入賞者 左から柳川、福田、西尾、堀内、岩永、都築の各選手



学校対抗戦の入賞者 前列 樫原中 後列左 香芝中 後列右 白樫中 選手達

(中体連 中前芳一)

編 | 集 | 後 | 記

新年度が始まるにあたり、西中会長に新体制の紹介、将来に向けての抱負を書いていただきました。また、新任の部長からも意欲的なメッセージが届きました。県連で役割を担われる多くの方は、仕事を持ちながらの任務、大変なご負担をお願いすることになります。周りからもできるだけ協力をしたいですね。

さて、奈弓連だよりの編集部においても担当変更がありました。土谷尚敬さんが退かれ、新たに山本悦子さん(奈良支部)が担当されることになりました。本紙が県弓道連盟の機関紙としての役割を果たせるよう、今年度も努力します。会員からのご意見を歓迎します。

henshu@narakyudo.jp までお寄せ下さい。

編集担当 野尻賢司

長らく皆さんご協力を得ながら、奈弓連たより、全弓連連絡員を担当させていただきありがとうございました。振り返ってみますと、各行事終了後、直ぐに原稿を頂いた時が嬉しかったです。 土谷尚敬